

僕は電車に乗つて疲れてゐるから、動く事は出来ない。

其の晩は眠つた。

『好く温泉に漬つて氣が變になつて、谷へ飛び込んだりする方が御座いますので』

翌朝女中が布團を上げに来て言つた。

僕は二三日來、女を見る目が變つたようだつた。

何んな女にもやさしく愛撫してやりたくなつた。

勘定を拂つて再び小田原まで歸る途中、電車の中でも、十五六の美しい小女に初戀の女の面影を偲んだ。

僕の皮膚は幾何か美しくなつたようだ。

正月前で何だかソワソワしたやうな氣がしてゐた。

之から又二宮まで行かなければならない。

汽車の中は女學生達と一緒だつた。

驛の附近に宿屋が四五軒ならんでゐた。